

東北土木技術人材育成協議会の取組み

国土交通省 東北地方整備局 企画部 技術管理課
東北技術事務所

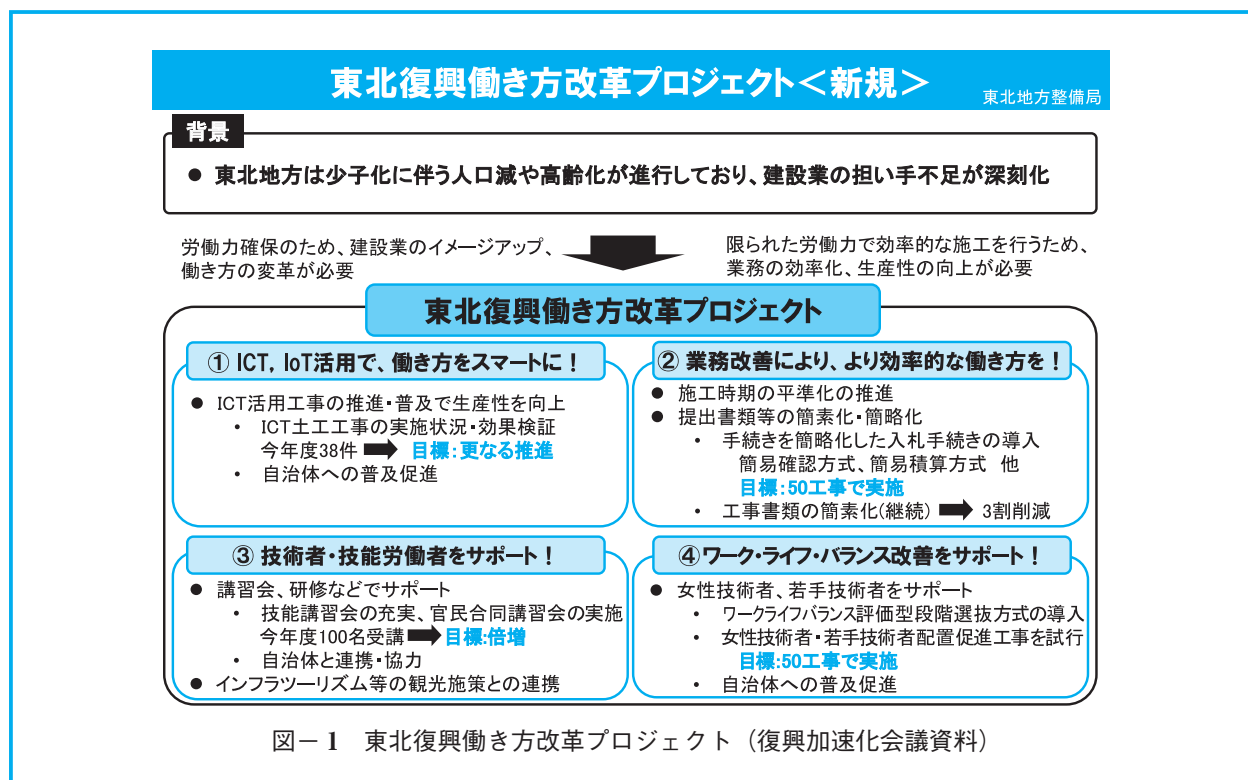
1. はじめに

建設産業の専門分野は多岐にわたり、若手技術者の育成に向けた専門知識の取得のため、東北地方整備局や各業団体等において、多様な取組みを実施してきたところです。

しかし、専門的技術や i-Construction をはじ

めとする新たな技術の取得には、中小の事業者などにおける十分な教育機会の確保、他分野技術の習得など、各機関の取組みにも課題が出ています。

そのような中で、「第7回復興加速化会議」（平成28年12月17日）にて示された「東北復興働き方改革プロジェクト」（図-1）の一環として、将来にわたり高品質な社会資本形成のための担い手育成を目的とした、「官民合同技術講習会」を全国初の取組みとして実施するにあたり、その母



体となる「東北土木技術人材育成協議会」を平成29年3月1日に設立しました（写真－1、図－2、表－1）。

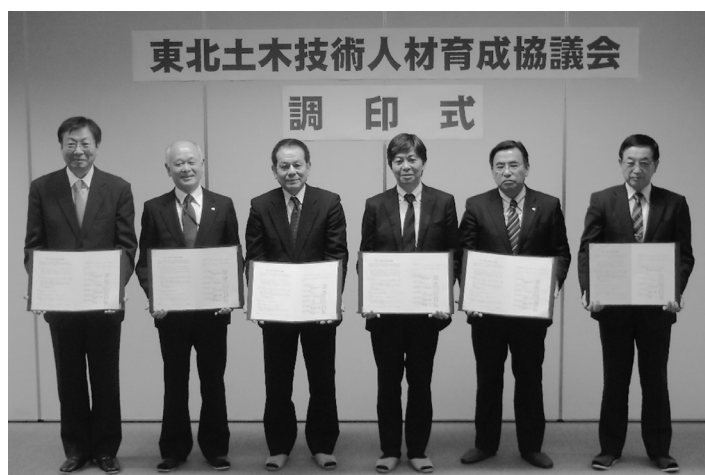
討や各団体間の調整，ワーキングなどを通じ，テキスト作成や講師の調整などを行うこととしています。

2. 東北土木技術人材育成協議会

東北土木技術人材育成協議会が主催する「官民合同技術講習会」は，所属する各団体，各分野のエキスパートが講師となり，各団体の若手技術者等向けに技術講習会を行うものです。協議会としては，「官民合同技術講習会」の講習会構成の検

3. 官民合同技術講習会の開催の経緯

東北土木技術人材育成協議会が主催する「官民合同技術講習会」は，平成28年度まで東北技術事務所が東北地方整備局職員向けに実施してきた「基礎技術講習会」の講習内容を拡充し，東北地方整備局職員の他，民間の関係団体加盟企業の職

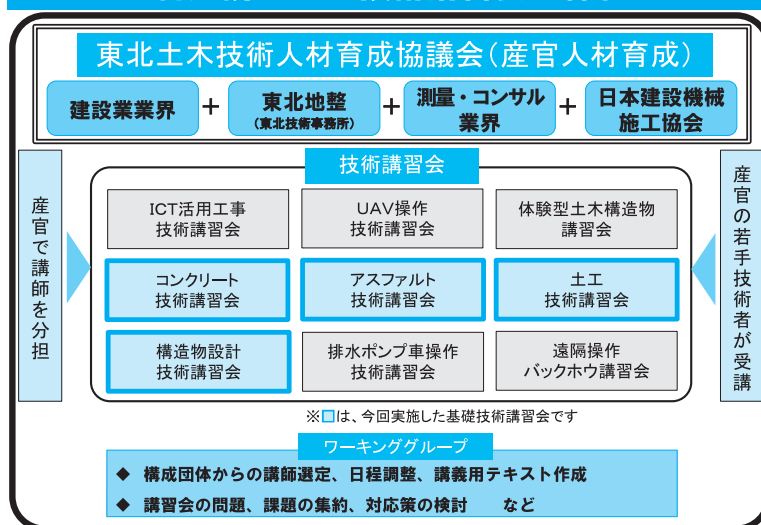


写真－1 東北土木技術人材育成協議会調印式（H29.3.1）

表－1 東北土木技術人材育成協議会参加団体

参加団体：国土交通省東北地方整備局
 (一社)日本建設業連合会東北支部
 東北建設業協会連合会
 (一社)東北測量設計協会
 (一社)建設コンサルタンツ協会東北支部
 (一社)日本建設機械施工協会東北支部

産官連携による技術講習会の枠組み



図－2 東北土木技術人材育成協議会の枠組み

員が一体となって受講するものです。

平成 28 年度まで東北技術事務所が開催していた「基礎技術講習会」は、平成 19 年度から東北地方整備局の若手職員を対象とし、若手技術者が「作る時の技術力」において、最低限の「基礎技術を習得」することを目標に東北技術事務所が開催しており、これまで 1,430 人の職員が受講しています（平成 29 年 3 月 31 日現在）。

しかし、従前の体制では、最近の ICT 技術や UAV 技術などの最新技術を取り入れたり、講師の選定や講習テキストの作成など、東北技術事務所が独自に取り組むのは難しい状況です。同様に、各業界団体も、i-Construction の浸透など他分野の基礎的技術を習得できる講習の機会が必要と考えていたことから、東北地方整備局の呼びかけにより「官民合同技術講習会」を実施することとなりました。

「官民合同技術講習会」は、東北土木技術人材育成協議会により、これまで東北技術事務所が実施していた、土工技術・アスファルト技術・コンクリート技術・構造物設計などの基礎技術講習会の拡充の他、ICT 活用工事技術や UAV 操作技術などの講習会を追加し、各団体が参加しやすい日程とするなど工夫しながら計画したところです。

4. 「官民合同技術講習会」 第 1 弾の状況

(1) 開催概要

今年度第 1 弾となる官民合同技術講習会は、土工・構造物設計・コンクリート・アスファルト技術の講習会として、平成 29 年 6 月 26 日から東北技術事務所で開催しました。各講習会ともに 1 泊 2 日の行程とし、関連する講習会を連続で受講することも可能な日程とするほか、民間の方も参加しやすいように「CPD」認定講義としています。

第 1 弾となる今回は、各参加団体が協力・連携し、各々得意分野の講師を分担することにより、若手技術者の基礎的な技術力向上を目的に実施し、4 講座で延べ 206 人（官側 111 人、民間 95

○開催日時：平成29年6月26日(月)～30日(金)
○第1弾内容：土工、構造物設計、コンクリート、アスファルト 技術講習会
○開催場所：東北地方整備局 東北技術事務所
○主催：東北土木技術人材育成協議会

講義名	開催日	参加者数
土工技術講習会	H29.6.26～27	53人 (官側28人、民間25人)
構造物設計技術講習会	H29.6.27～28	58人 (官側27人、民間31人)
コンクリート技術講習会	H29.6.28～29	53人 (官側29人、民間24人)
アスファルト技術講習会	H29.6.29～30	42人 (官側27人、民間15人)

図－3 官民合同技術講習会（第 1 弾）概要

人）の方に受講していただきました（図－3）。

(2) 各講習会の概要

今回の講習会は、座学と実習（演習）の構成となっており、概要は以下のとおりです。

① 土工技術講習会（写真－2）

土工・土質の基礎知識、出来形と品質管理、事例等の座学と盛土の密度管理の実習など
ポイント：模型を使用した地震時の堤防の壊れ方を見ることで、管理上のチェックポイントが把握できる。

② 構造物設計技術講習会（写真－3）

体験型土木構造物実習施設での不具合確認、設計要素・成果品チェック等の座学と設計演習など
ポイント：実物大の構造物の不具合等を見てから設計演習をすることで、設計する上でのポイントが把握できる。

③ コンクリート技術講習会（写真－4）

品質確保、受入検査など座学、体験型土木構造物施設での品質管理の留意点、各種試験実習など
ポイント：自分で現場試験を体験することで、現場受入時のチェックポイントが把握できる。

④ アスファルト技術講習会（写真－5）

アスファルト概論、配合試験等座学と各種試験実習、舗設実習など
ポイント：あえて不具合を生じる施工を行うことで、品質管理上何が必要かといったポイントが把握できる。

(3) 講習会の実施状況



写真-2 土工技術講習会 (H29.6.27)



写真-4 コンクリート技術講習会 (H29.6.29)



写真-3 構造物設計技術講習会 (H29.6.28)



写真-5 アスファルト技術講習会 (H29.6.30)

(4) 受講者の声

各講習会終了後に受講者の方へアンケートを実施し、良かった点や改善すべき点について意見をいただきました(図-4)。

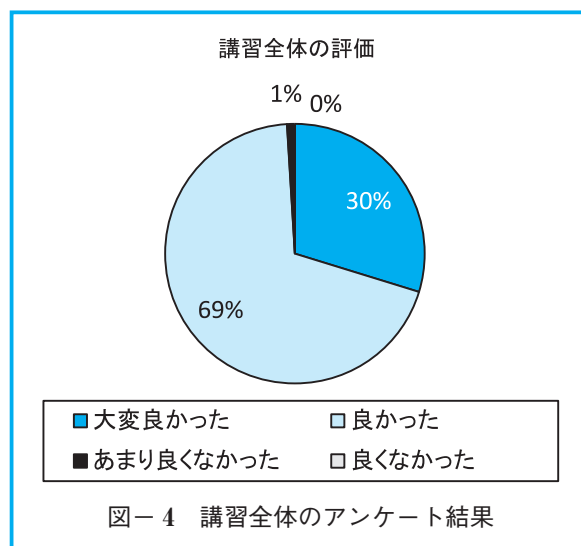
講習全体としては、99%の方に良かったと評価していただきました。

1%の方の意見として、講義スケジュールの修正要望が出されたので、次回の講習へ反映させていただきます。

その他の意見として、

- ・液状化、締固め試験といった、普段経験することができないことを体験できてよかった。
- ・配筋図はこれまでも書いてきたが、今回現場で実物を見学でき、図面の見方が理解できるようになった。

・失敗事例が大変参考になった。
など、ほとんどの方から好評価をいただきました。



(5) 課 題

東北土木技術人材育成協議会活動にあたり、課題も浮き彫りになってきています。

- ・ 想定定員を上まわった場合の調整方法
 - ※各団体の意見を聞き参加しやすい行程とした結果、整備局の参加希望者も増加
 - ※団体毎の募集としているため、募集段階における応募総数がわからない
- ・ テキスト作成時に想定した受講者像との乖離
- ・ 受講者1人1人の技術レベルの差異
 - ※業務経験のある受講者と未経験の受講者の混在

これらの課題については、受講者の要望などとあわせ、東北土木技術人材育成協議会において、改善に向け検討していきます。

5. おわりに

官民合同技術講習会は、平成29年8月29日より第2弾となるICT活用工事技術、UAV操作技術の講習会が開催されるなど、今後も継続していく予定です。

官民合同技術講習会の取組みは始まったばかりであり、今回の開催によって受講者からの要望のほか、調整や募集を行った事務局としても課題があることから、引き続きより良い講習会とするべく、課題の対応を行いつつ、最新技術・情報などを盛り込むなど官民合同技術講習会を改善させながら、東北の建設関係の担い手の確保・技術力の向上に向けて取り組んでいきます。